小美玉市の歴史を知ろう⑧

立延低地遺跡(たちのべていちいせき)

昨年度、試掘確認調査でしたが、大きな成果を挙げた遺跡がありました。立延低地遺跡(たちのべていちいせき)です。

小川地区の、現在の「カスミ」が建設される前、小美玉市教育委員会により埋蔵文化財の試掘調査を実施したところ、縄文時代前期の遺跡が発見されたのです。ご存知の方も多いでしょうが、園部川脇の田んぼの中に、この遺跡はありました。周辺の台地には多くの遺跡が確認されているため、ここにも先人の生活の痕跡があると想定されたのです。

実際に調査したところ、何と、ここから比較的大規模な自然貝層が出てきました。これは、自然に死んだ貝があたかも貝塚のように層をなして形成されたものです。これがあるということは、ここがその昔、砂浜のようにひろがる海岸であったという事です。そして、この自然貝層の周辺から、土器を中心とした縄文時代前期の遺物が出土したのです。

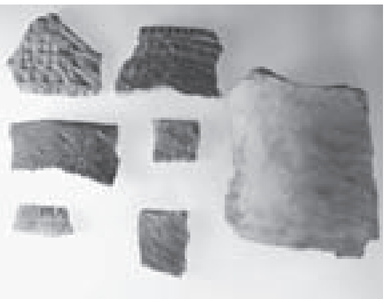
縄文時代前期というと、海進と呼ばれる海水面の上昇が最大となり、一番内陸部にまで海が進出していた時期です。そのとき、どこまで海がきていたか、実は今までよく分かっていませんでした。しかし、この立延低地遺跡の試掘調査により、現在のカスミあたりまで海が来ていたことが証明されたのです。

この立延低地遺跡は、はるか五千年前の縄文時代前期、貝の採取等といった人間の生業活動と関連する遺跡であったと考えられます。

小さな規模の調査でしたが、その成果は非常に大きく、今後の小美玉市の縄文時代史を語る上で重要な遺跡となりました。立延低地遺跡から出土した資料は、現在、小美玉市玉里史料館に所蔵されています。展示はしてませんが、事前にご相談いただければ閲覧できます。

立延低地遺跡の自然貝層

自然貝層から出土した貝


▶縄文時代前期の土器

(次回の掲載は11月号です)

【小美玉市教育委員会 生涯学習課☎26−9111】

ボランティアの皆さま、ご協力ありがとうございました

「ふるさとふれあいまつり」の会場設営は、メインステージとなるやぐら建設・撤去に、例年、小美玉市建設業協会(56社)約200名のボランティアによるご協力をいただき行われています。同様に、提灯などの照明の設営は、小美玉市電設業協会のご協力のもと迅速に作業が行われました。さらに、多くの市内関係団体の皆さまにもご協力をいただきまして、ありがとうございました。

小美玉市ふるさとふれあいまつり実行委員会

棚一枚でもお気軽にどうぞ!
株式会社 笹光建設
〒311-3416 茨城県小美玉市与沢253-37
TEL 0299-54-0618 FAX 0299-54-0421
www.sasamitu.co.jp/
ささみつ 検索
新築/増改築/小さなリフォームなど

文部科学省所管 日本ボールルームダンス連盟認定
ダンス アカデミー美野里
会員募集中!初心者・中高年者大歓迎!
健康増進・メタボ対策にもどうぞ
社交ダンス教室
小美玉市江戸165-3 ☎0299(48)2568
JBDFプロダンスインストラクター 半澤誠悦・松本悦子